

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-503746(P2008-503746A)

【公表日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【年通号数】公開・登録公報2008-005

【出願番号】特願2007-517442(P2007-517442)

【国際特許分類】

G 01 B 11/26 (2006.01)

G 01 B 7/30 (2006.01)

G 01 D 5/12 (2006.01)

【F I】

G 01 B 11/26 Z

G 01 B 7/30 H

G 01 D 5/12 N

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月20日(2008.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スケールに対する読み取りヘッドの角度合わせを決定するための装置であって、

読み取りヘッドに少なくとも一のセンサを備え、

前記少なくとも一のセンサの少なくとも一の出力は、

前記読み取りヘッドに隣接する前記スケールの表面に平行な軸線回りの前記スケールに対する前記読み取りヘッドの角度合わせにより決まり、かつ、前記スケールに対する前記読み取りヘッドの調整の所要の方向を指示するために使用される、装置。

【請求項2】

少なくとも一のセンサは、少なくとも一の光学検出器を備えている、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記読み取りヘッドは、光源を含む、請求項2に記載の装置。

【請求項4】

少なくとも一の光学検出器は、分割された検出器を備える、請求項3に記載の装置。

【請求項5】

少なくとも一のセンサは、少なくとも一の近接センサを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

前記スケールは、光学スケールを含む、請求項1ないし5のいずれかに記載の装置。

【請求項7】

前記スケールは、磁気スケールを含む、請求項1ないし5のいずれかに記載の装置。

【請求項8】

前記スケールは、回転式スケールを含む請求項1ないし7のいずれかに記載の装置。

【請求項9】

前記スケールは、リニアスケールを含む請求項1ないし8のいずれかに記載の装置。

**【請求項 10】**

前記スケールに対する前記読み取りヘッドの角度合わせは、ピッチを含む、請求項1ないし9のいずれかに記載の装置。

**【請求項 11】**

前記スケールに対する前記読み取りヘッドの角度合わせは、ロールを含む、請求項1ないし10のいずれかに記載の装置。

**【請求項 12】**

前記スケールに対する読み取りヘッドの前記角度合わせは、局所的なスケール平坦性を含む、請求項1ないし9のいずれかに記載の装置。

**【請求項 13】**

前記出力は、画像表示を作り出す、請求項1ないし12のいずれかに記載の装置。

**【請求項 14】**

前記出力は、音響信号を作り出す、請求項1ないし13のいずれかに記載の装置。

**【請求項 15】**

前記出力は、前記スケール及び前記読み取りヘッドの相対的な位置合わせが最適な範囲内にあるときを指示するために使用される、請求項1ないし14のいずれかに記載の装置。

**【請求項 16】**

前記出力は、前記スケールに対する前記読み取りヘッドの角度位置の大きさをするために使用される、請求項1ないし15のいずれかに記載の装置。